

マダイの種苗生産

多和田真周・勝俣亜生・仲村伸次・久保弘文

1. 方法

基本的には昨年度と同様である。異なるのは、ワムシの栄養強化にドコサユージェナ（ハリマ化成）を使ったことと、アルテミアの栄養強化にドコサ65E（ハリマ化成）を使ったことである。

2. 結果

表1に種苗生産結果を示した。産卵は2月2日から4月22日まで見られた。2月は産卵回数、産卵量とも少なかった。

特別な問題もなく順調に生産できたが、4回次は日令26全長10mmの時にイクチオボド症様の疾病が発生し4日

間で約25万尾の斃死があった。ホルマリン200ppmで薬浴したところ鞭毛虫は死滅し、その後のマダイの斃死はなかった。

ワムシの栄養強化でのドコサユージェナの使用及びアルテミアへのドコサ65Eの使用は生残率に対しては影響を与えなかったが、異形魚の発生が昨年に比べて少なく、この点について多少の効果があったかもしれない。

5月中旬海面生簀で中間育成中のマダイ（50.5mm, 2.1g）にビブリオ病+滑走細菌症の発生がみられた。OTCの投与と毎日の死魚の取り上げにより10日間で終息した。55,000尾のうち6,000尾が斃死した。

表1 平成6年度マダイ種苗生産結果

生産回次	回	1	2	3	4	合計
卵収容日	月日	3月1日	3月2日	3月13日	4月6日	3/1~4/6
卵収容数	千粒	1,170	1,296	2,358	1,152	5,976
ふ化日	月日	3月2日	3月3日	3月14日	4月7日	
ふ化率	%	74.2	69.7	92.0	83.3	83.7
開始時水槽	m ³ , 槽	45, 1	45, 1	45, 1	45, 1	45, 4
仔魚収容数	千尾	869	904	2,170	960	5,003
開始密度	千尾/m ³	21	22	52	23	30
飼育日数	日間	57	53	25	43~48	25~67
取場全長範囲	mm	17~37	18~34		18~32	17~37
取場平均全長	mm	23.4	26.8	尾数減少のため	24.1	24.8
取場尾数	千尾	281	259	中止	189	729
生残率（ふ化から）	%	32.3	28.7		19.7	26.7(中止は除外)
分槽時全長	mm				9	
使用水槽総数	m ³ , 槽				45, 2	
取場密度	千尾/m ³	6.7	6.2		2.3	4.3
飼育水温	°C	15.2~24.0	16.2~24.2	16.0~21.0	19.0~24.0	15.2~24.2